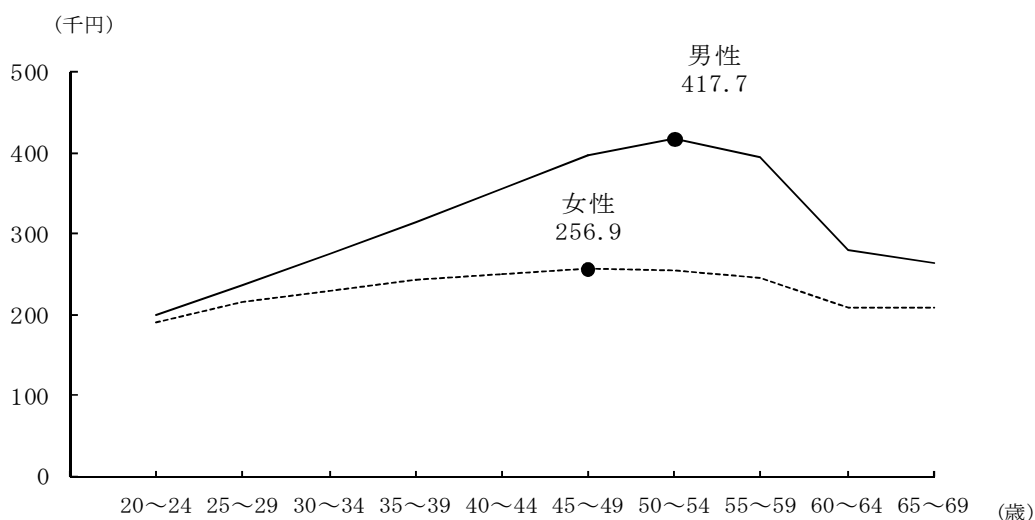


(2) 性別にみた賃金

性別に賃金カーブ*をみると、男性では、年齢階級が高くなるとともに賃金も上昇し、50～54歳で417.7千円（20～24歳の賃金を100とすると208）と賃金がピークとなり、その後下降している。女性では、45～49歳の256.9千円（同135）がピークとなっているが、男性に比べ、賃金カーブは緩やかとなっている。（第2図、第2表）

※賃金カーブとは、年齢(階級)とともに変化する賃金額の状況をグラフで表したものをいう。以下同じ。

第2図 性、年齢階級別賃金



注：線上の●印は賃金ピークを示す。以下同じ。

第2表 性、年齢階級別賃金、対前年増減率及び年齢階級間賃金格差

年齢階級	男性			女性		
	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)	賃金 (千円)	対前年 増減率 (%)	年齢階級間 賃金格差 (20～24歳 =100)
年齢計	326.0	-0.9	162	232.6	-0.2	122
20～24歳	200.7	0.1	100	190.4	-0.1	100
25～29	236.5	-0.3	118	215.2	-0.7	113
30～34	275.2	-1.1	137	230.5	-0.9	121
35～39	314.5	-1.6	157	244.6	0.2	128
40～44	357.3	-1.7	178	249.8	-2.0	131
45～49	397.6	-2.6	198	256.9	0.1	135
50～54	417.7	-1.4	208	254.2	0.6	134
55～59	394.8	-1.0	197	245.2	2.0	129
60～64	281.1	1.1	140	209.0	-1.1	110
65～69	263.7	1.2	131	208.1	1.2	109
年齢(歳)	42.8			40.4		
勤続年数(年)	13.3			9.1		

注：年齢計には、上掲の年齢階級に限らず、すべての年齢の者を含む。以下同じ。